

GOLD EXPERIENCE 2

— 金鯰によせて —

*GOLD EXPERIENCE 2 - in Nagoya & Komaki -
Homage to the Golden Tigerfish*

《 開催のご案内／プレスリリース 》

【開催概要】

展覧会名＝「GOLD EXPERIENCE 2 ～金鯰によせて」

第1会場＝ 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー (名古屋市)

会期： 2012年3月9日(金)～3月18日(日) ※月曜休館

時間： 11:00～18:30

第2会場＝ 旧竹内邸・常懐荘 (愛知県小牧市)

会期： 2012年3月10日(土)、11日(日) ※土日2日間のみの特展

時間： 11:00～20:00

出展作家＝ パク・ヒョンジュ (Hyunjoo Park)、イ・チオン (Chion Lee)、ハン・ホ (Ho Han)、
白河ノリヨリ、木村了子、安喜万佐子、野口琢郎

企画・主催＝「GOLD EXPERIENCE 2」実行委員会／HRD ファインアート

<http://www.hrdfineart.com>

(京都府京都市上京区上御霊堅町 494-1)

【展覧会概要】

「GOLD EXPERIENCE 2 ～金鯰によせて」と題して、金箔を用いて現代における絵画表現を追究している日韓の美術作家7名の作品を紹介するグループ展を開催いたします。

金箔を使った絵画表現は、西洋・東洋どちらにおいても古代・中世からの長く豊かな歴史を持ちます。西洋においてはテンペラ技法を用いた聖像画・イコン、モザイク壁画などにおいて、また東洋においては障壁画や漆絵などにおいて、それぞれの美学や美的感覚、また宗教や哲学を背景として、技術技法を発展させてきました。東洋における金箔の貼り方と、西洋における金箔の使用方法は、美術史の中で全く異なる発展を遂げていきますが、近代ヨーロッパでは19世紀末にジャポニスムの一部として金箔を用いた表現が取り込まれ、また東洋ではキリスト教布教のために黄金背景のイコンが大きな役割を果たすなど、東西文化のクロスオーバーを象徴するものとして捉えられる側面もあります。

絵画の背景をなす脇役的な部分として捉えられることも多い技法ですが、単なる背景としての機能にとどまらず、あるときは宗教的な荘厳さを示すために、また無限の空間を表出するため、またあるいは所有者の威光や権力を誇示するために、金箔が果たしてきた積極的な役割は決して見過ごすことはできません。

本展覧会は、西洋と東洋で全く異なる進化をしてきた「絵画における金箔」の伝統的な技術技法を受け継ぎ、また同時にそこに美術の歴史の意味や必然を読み取りながら、現代における絵画表現に取り込もうとしている日本と韓国のアーティストたちの作品を通じて、現代美術における技法材料の側面に新たな光を当てるとともに、金箔に込められた思想や精神性、メッセージなどにも目を向けながら、美術の長い歴史につながる21世紀の絵画表現の可能性について思いを巡らす機会を提供します。

「金のしゃちほこ」で有名な名古屋城を誇る尾張名古屋の地で、美術における「金」の魅力を再発見する機会となることでしょう。

本展は、2010年5月～6月にかけて韓国ソウルのHYUN GALLERYにて開催された展覧会「GOLD EXPERIENCE」を名古屋・愛知に巡回し開催する、国際交流巡回展です。

(各作家の紹介、略歴は4ページ以降をご参照ください。)

【オープニングレセプション／関連イベント】

・オープニングレセプション@愛知芸大サテライトギャラリー

会場:愛知県立芸術大学サテライトギャラリー

日時:3月9日(金) 午後5時より

・オープニングレセプション@常懷荘

会場:常懷荘

日時:3月10日(土) 午後1時より

・アーティストトーク&スライドショー

会場:常懷荘

日時:3月10日(土) 午後1時半頃から約1時間

○……出品作家による作品解説と、それぞれが用いる「箔」の技法についての説明を中心に、スライドショーを交えたアーティストトークを行います。

・木村了子による恋愛シミュレーションゲーム「常懷荘のふたり～出逢い編～」(仮題)

会場:常懷荘

日時:3月10日(土)、11日(日)

○……出品アーティストの一人、木村了子の作品展示として、常懷荘全体を双六に見立てた「恋愛シミュレーションゲーム」を行います。木村作品の中に描かれているイケメン兄弟のエスコートにしたがって、双六のコマを進めるように作品を辿って会場内を巡り、ゴールを目指す、観客参加型の作品となります。

【会場について】

①愛知県立芸術大学サテライトギャラリー（愛知県名古屋市中区錦 3-21 中央広小路ビル 3 階）

愛知県立芸術大学(長久手市)の学外ギャラリーとして名古屋市内に開設されている展示スペース。

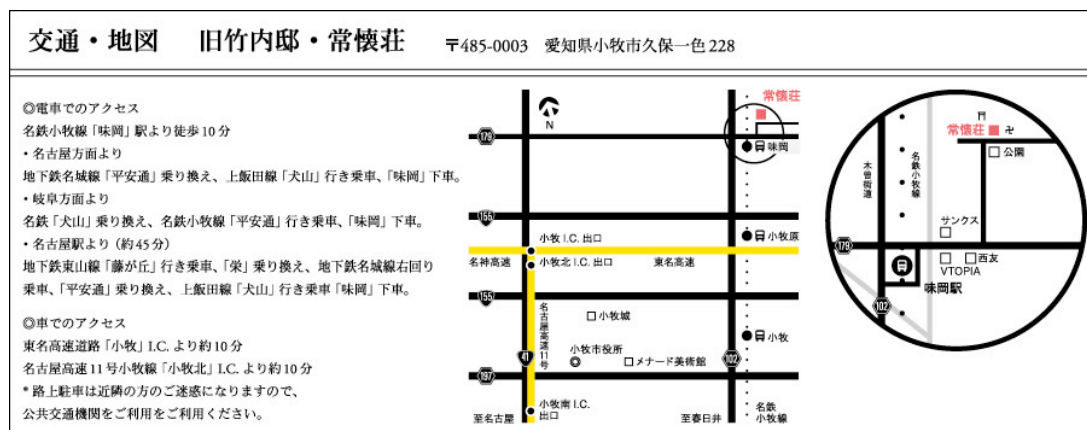
http://www.aichi-fam-u.ac.jp/facilities/satellite_gallery

②旧竹内邸・常懷荘（愛知県小牧市久保一色 228）

昭和 8 年に竹内禅扣(ゼンコウ)の別荘として建造された、昭和初期の特徴的な和洋折衷スタイルを持つ建物。2009 年から定期的にイベントを開催し、建築と歴史を紹介している。



「常懷荘」外観



本展覧会の詳細については、「GOLD EXPERIENCE 2」実行委員会 (HRD ファインアート内) までお問い合わせください。

「GOLD EXPERIENCE 2」実行委員会／HRD ファインアート（代表: 原田）

〒602-0896 京都市上京区上御霊豎町 494-1

電話:075-414-3633 メール:info@hrdfineart.com

<http://www.hrdfineart.com>

【出品アーティスト紹介／略歴】

ハン・ホ Ho HAN

○……ハン・ホは、古代から続く人類の歴史・文明と、その根底にある人間性・精神性に対する根源的な問いを制作の出発点とし、絵画、立体、映像インスタレーションなど多彩なメディアで表現している。

- 1972 ソウル生まれ
2005 パリ第8大学(ヴァンサンヌ大学)DEA(ファインアート)取得
2007 パリ第8大学(ヴァンサンヌ大学)MAP(ファインアート)取得
現在、ソウルおよびニューヨーク在住

主な個展

- 1998 Gallery Ewho(ソウル)
2002 ソウル・アーツ・センター(ソウル)
2004 Galerie Taibout(パリ)
2008 Gallery SO(ソウル)
2010 PMS Gallery(北京)
Gong Gallery(北京)
Lee Hyun Gallery(ソウル)
2011 Tenri Gallery(ニューヨーク)

主なグループ展

- 2011 「Play & Moment」ソウル・アーツ・センター(ソウル)
「SOFIA International Paper Art Biennale」(ソフィア／ブルガリア)
2010 「Pingyao International Photography Festival」(平遥／中国)
「Beautiful Bridge」ソウル・アーツ・センター(ソウル)
2009 「Art en Capital」The National Museum of Grand Palais(パリ)
2008 「Genie de la Bastille Contemporary Art Festival」(パリ)
「Aliens EXF」New York Art Center for Contemporary Art(ニューヨーク)
「Empty Area of Alien Aquazoo」Loebbecke Museum Ballhaus(デュッセルドルフ)
2007 「Le Moulin Brule」Art Center Maisons Alfort(パリ)
「NEO WYAK 2007」Xiaopu Yizhan Metropolitan Museum of Contemporary Art(北京)
2004 「International Biennial」(Chize／フランス)
「HYPE GALLERY」パレ・ド・トーキョー(パリ)
2001 「Korea Japan China Exchange Exhibition」(広州)
U.B.C. Asian Center(バンクーバー)
1999 「ミレニアム記念展」ソウル市立美術館(ソウル)
「'99 The Arrival of the New Millennium Exhibition」ソウル・アーツ・センター(ソウル)
1998 「日韓交流展」(東京、仙台)

【出品アーティスト紹介／略歴】

木村了子 Ryoko KIMURA

○……木村了子は屏風絵など伝統的な日本画の技法・画法をベースに、現代日本の社会に見え隠れする欲望やタブーを、特に女性の視点から描いた戯画的な作品を制作する。版画作品にも取り組み、発表を行っている。

1971 京都生まれ
1997 東京芸術大学院修士課程壁画専攻修了
現在、東京在住

主な個展

1997 「半地下多目的スペース」リュ・プラス(東京)
2002 スパンアートギャラリー
2003 「女性上位時代」ヴァニラ画廊(東京)
2004 「ステンドグラス浪漫」そごう神戸本店アートギャラリー(神戸)他4会場巡回
2005 「Beauty of My Dish - 私の男体盛り料理」スパンアートギャラリー(東京)
2007-08 「Prince Come True」旧ギャラリーエス・ミヅマアクション企画(東京)／布查国際当代芸術空間
2009 「Born to be WILD 目覚めろ、野性！」三瀦画廊(北京)／布查国際当代芸術空間 (台北)
2010 「楽園」ミヅマアクション(東京)
2011 「La Fascination des Beaux Hommes / Binan Raisan」Galerie Vanessa Rau(パリ)

主なグループ展

2002 「第1回ステンドグラス美術展」名古屋松坂屋美術館(名古屋)
2003 「アート・アンド・ジェネレーションズ」スパンアートギャラリー
2004 「東京芸大のガラス作家たち」東京芸術大学陳列館(東京)
2005 「伊藤晴雨とその系譜」ヴァニラ画廊
2006 「眼差しと好奇心」ミヅマアクション(東京)
「3人の画家」兜屋画廊(東京)
2007 「美男画」ぎやらりい朋(東京)
2009 「2nd Art Auction Show」COEX(ソウル)
2010 「第六屆漢字文化節『漢字弄潮』当代芸術展」中正紀念堂(台北)
「GOLD EXPERIENCE 日韓現代金箔絵画」Hyun Gallery(ソウル)
2011 「観○光」二条城(京都)

受賞

2002 「第1回ステンドグラス美術展」プロ部門・奨励賞

【出品アーティスト紹介／略歴】

イ・チオン Chion LEE

○……イ・チオンは箔の技法を東洋の絵画の伝統技法から取り入れながら、キャンバスやアクリルといった西洋絵画の画材と組み合わせ、伝統にとらわれない叙情的な抽象絵画を制作している。

- 1978 ソウル生まれ
2002 ソウル女子大学美術学科卒業
2003 北京中央美術学院留学
2007 ソウル女子大学大学院修士課程修了
現在、ロンドン在住

主な個展

- 2006 ソウル女子大学 Barhom Gallery(ソウル)
2010 JAM(Jangheung Art Market)(キョンギ道チャンフン郡)

主なグループ展

- 2002 「New Frontier」Gongpyeong Art Center(ソウル)
「Young Artist Exhibition」ソウル・アーツ・センター(ソウル)
2004 「Handicap」Artlink Gallery(ソウル)
2005 「Cogito」Gallery OM(ソウル)
「Korean-American Artist Group Exhibition」Cheltenham Art Center(フィラデルフィア)
2006 「Are We Different?」Dongduk Art Space(ソウル)
2007 「Dream of Midday」新世界デパートギャラリー(ソウル)
2008 「Wall and Bridge」Sempio Art Space(韓国・イチョン)
「ASYAAF - When we first met」旧ソウル駅舎(ソウル)
「Cogito」Gallery La Mer(ソウル)
2009 「Cogito」Gallery Gwang(ソウル)
2010 「GOLD EXPERIENCE 日韓現代金箔絵画」Hyun Gallery(ソウル)
2011 「Barhom Residence Open Studio」(ソウル)

作品収蔵

ソウル女子大学(ソウル)

【出品アーティスト紹介／略歴】

野口琢郎 Takuro NOGUCHI

○……野口琢郎は、京都の西陣織に使用する金糸をつくるために用いられる、金銀箔を漆で定着させる「引箔(ひきばく)」と呼ばれる工芸技法を絵画に応用し、風景を想起させるイメージを中心に情感あふれる作品を制作している。

1975 京都生まれ
1997 京都造形芸術大学洋画科卒業
現在、京都在住

主な個展

2004 BRICOLAGE(大阪)
2005 Kyoto 和ギャラリー(京都)
2006 大丸京都店アートスポット(京都／2007、09)
2007 石田大成社 ICB(京都)
2008 大丸東京店アートギャラリー(東京)
2010 ギャラリーヒルゲート(京都)

主なグループ展

2002 「アミューズ・アーティスト・オーディション in 京都」京都文化博物館(京都)
「AMUSE SELECTION 展」有楽町朝日ギャラリー(東京)
2007 「京都府美術工芸新鋭選抜展」京都文化博物館(京都)
「re-concentration-2 展」石田大成社ホール(京都)
2010 「京のアート次世代作家展」京都文化博物館(京都)
2011 「第29回上野の森美術館大賞展」上野の森美術館(東京)、京都文化博物館(京都)
「箔画 野口康・琢郎展」ポルタギャラリー華(京都)
「京都アペルト」(オープンスタジオ展／京都)
「Soiree UTAGE」オテル・ル・ブリストル(パリ)

受賞

2002 「アミューズ・アーティスト・オーディション in 京都」グランプリ受賞
2011 「第29回上野の森美術館大賞展」入選

【出品アーティスト紹介／略歴】

パク・ヒョンジュ Hyunjoo PARK

○……パク・ヒョンジュは、テンペラ絵画における金箔の技術を専門的に研究し、その伝統技法を応用展開した絵画や半立体の作品を制作している。幾何学的な形態と豊かな色彩、また金の輝きや反射を通して、光、フォルム、色彩などの視覚要素と精神性との関わりを追究している。

- 1968 ソウル生まれ
- 1991 ソウル大学美術学部西洋画専攻卒業
- 1993 ニューヨーク大学大学院修了(美術修士)
- 2002 東京芸術大学大学院博士課程修了(美術)
- 現在、ソウルおよびNY 在住

主な個展

- 1993 80 Washington Square Gallery (ニューヨーク)
- 1994 Gallery Icon (ソウル)
- 1998 小林画廊 (東京)
- 1999 Keumsan Gallery (ソウル)
- 2001 「新世代の視点」(セゾンアートプログラム企画／小林画廊)
- 2002 DNA-Die Neue Aktionsgalerie (ベルリン)
ギャラリー風 (大阪／2004 も)
- 2003 Gallery In (ソウル)
- 2005 Creclooart Gallery (フィラデルフィア)
- 2006 SADI Window Gallery (ソウル)
- 2008 Sun Contemporary (ソウル)
- 2009 「Diagram of Light」VIT Gallery (ソウル)

主なグループ展

- 2003 「Dancing Color」Gallery Sang (ソウル)
「Exploration of Light and Color」ソウル・アーツ・センター
「Sense and Sensitivity」プサン市立美術館 (プサン)
- 2004 「Joy of Contemplation」Sun Gallery (ソウル)
- 2005 「Beyond Artifice」蚩尤金属工芸館 (ソウル)
「Art Camp in India」(ムンバイ)
- 2006 「Korean Contemporary Artists 5」Galley Kong (ソウル)
- 2008 「Up to the Minute」Korea Art Center (プサン)
- 2009 「韓国現代美術に見る文化多様性」Sophia Art Gallery (ソウル)
「Sensitivity and Abstraction」Cyart Gallery (ソウル)
- 2010 「GOLD EXPERIENCE 日韓現代金箔絵画」Hyun Gallery (ソウル)

【出品アーティスト紹介／略歴】

白河ノリヨリ Noriyori SHIRAKAWA

○……白河ノリヨリは黄金テンペラ絵画などの技法研究に取り組むかたわら、古代史や神話、建築的なイメージを取り込んだ作品など、光と記憶、空間を象徴的に結びつけた作品を、画材研究に裏付けられた緻密な技術によって制作している。

- 1969 東京生まれ
1993 東京芸術大学油画専攻卒業
1995 東京芸術大学大学院修士課程修了(油画技法材料研究室)
現在、愛知在住

主な個展

- 1996 銀座スルガ台画廊(東京)
1997 銀座清月堂ギャラリー(東京／1998も)
2004 伽藍洞ギャラリー(名古屋／2010も)
2006 銀座ごらくギャラリー(東京)

主なグループ展

- 1995 「三人展」銀座清月堂ギャラリー(東京)
1997 「二人展」新宿全労済ホールギャラリー・スペースゼロ(東京)
2001 「ART FORM OF JAPAN」The Suan Dusit Art Gallery(バンコク)
2002 「三人展」長谷川空間創造会社(東京)
「New Traditional Art」シルパコーン大学アートセンター(バンコク)
「三人展」伽藍洞ギャラリー(名古屋)
2003 「葵の会」銀座スルガ台画廊(東京) (2004、05、06、07、08、09も)
「FIELD OF NOW 形象改革」銀座洋協アートホール(東京)
2005 「TEN by 展 10×10・小さな宇宙」ギャラリーアルファ(名古屋)他巡回
2006 「CONNECT [Impression on Paper]-紙上の印象」シルパコーン大学アートセンター
2009 「オクターヴ」伽藍洞ギャラリー(名古屋)
2010 「GOLD EXPERIENCE 日韓現代金箔絵画」Hyun Gallery(ソウル)
2011 「JUNINTOIRO」伽藍洞ギャラリー(名古屋)
2012 「砂の城をつくること(あるいは壊すこと)」Next Door Gallery(ソウル)

作品収蔵

在日本ペルー大使館(東京)

【出品アーティスト紹介／略歴】

安喜万佐子 Masako YASUKI

○……安喜万佐子は風景を題材に、時間の蓄積や抽象化される記憶のありようを絵画平面に表現することを一貫したテーマとした制作を続けている。近年は金箔を用い、日本の伝統絵画との交差を試みる制作にも取り組んでいる。

- 1970 大阪生まれ
1994 京都精華大学大学院美術研究科修了
2001 アーティスト・イン・レジデンス／英国立エジンバラ・カレッジ・オブ・アート(大阪府芸術家交流事業「ART-EX」による派遣)
2004 ゲスト・アーティスト／アムハースト・カレッジ(米マサチューセッツ州)
現在、京都在住

主な個展

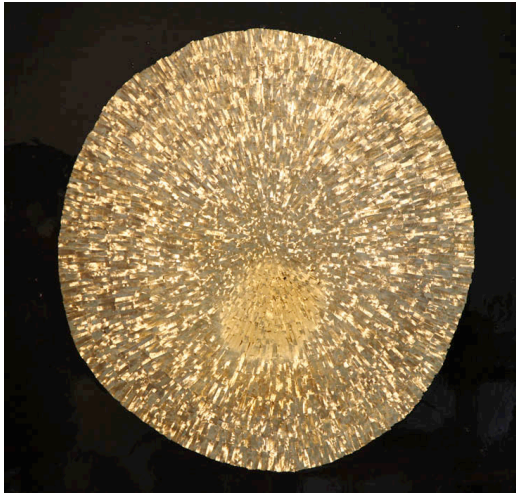
- 1993 ギャラリー16(京都／1995、97、98、99、2005、09、11も)
2000 「real/time」ギャラリエアンドウ(東京)
2001 ギャラリー手(東京／2005、06も)
Sculpture Court Gallery at ECA(英国・エジンバラ)
2002 「Edinburgh Project」大阪府立現代美術センター(大阪)
2003 ベイスギャラリー(東京)
2006 キュービックギャラリー(大阪)

主なグループ展

- 1991 「京都アンデパンダン展」京都市美術館(京都)
「タブラ・ラサ展」京都四条ギャラリー(京都)
1995 「field book - drawings」ギャラリー自由空間(大阪)
1996 「Painting - being makes ripples」ギャラリー16
1998 「揺籃する位置」大阪府立現代美術センター、広島ロキシーサイドミュージアム(広島)、神戸アートビレッジセンター(神戸)
1999 「VOCA 展 - 新しい平面の作家たち」上野の森美術館(東京)
2000 「INCUBATION 00」京都芸術センター(京都)
2002 「VOCA 展 - 新しい平面の作家たち」上野の森美術館
2004 「フラットプラット展」神奈川県民ホールギャラリー(横浜)／CASO(大阪)
2005 「City-net Asia 2005」ソウル市立美術館(ソウル)
2008 「崇高から不気味なものへ」CASO(大阪)
「Out of Sight, Still in Mind」Gallery Hangil(韓国・パジユ)
2010 「GOLD EXPERIENCE 日韓現代金箔絵画」Hyun Gallery(ソウル)
2012 「風景の逆照射」京都精華大学ギャラリーフロール(京都)

【作品介绍】

(※実際の展示作品とは異なる場合があります)



ハン・ホ 「The History of Light」

顔料、金属箔／キャンバス 100×100cm 2006年



木村了子 「鷹男ー空翔けるオレ！」

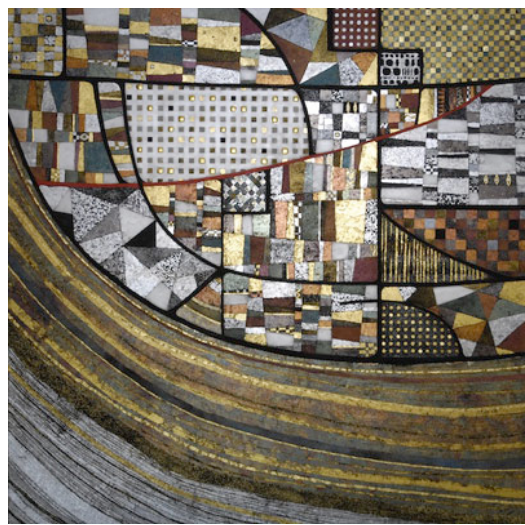
岩絵具、金箔／紙 116.7×72.7cm 2010年



イ・チオン 「不期以遇」

アクリル、パール顔料、オイルパステル、金箔、どうさ
液／キャンバス

116.7×91cm 2011年



野口琢郎 「Landscape #13」

金・銀・プラチナ箔、漆、石炭粉／パネル

100×100cm 2009年

【作品介绍】

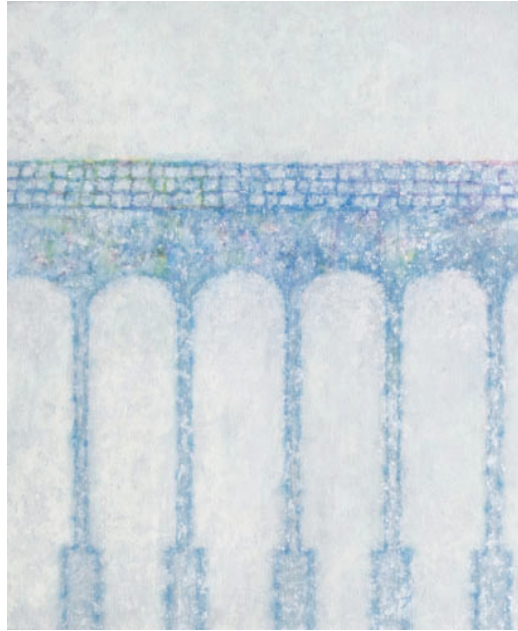
(※実際の展示作品とは異なる場合があります)



パク・ヒョンジュ 「MA-UM」

ジェッツ、アクリル、金箔／パネル 60×60cm

2009年



白河ノリヨリ 「V-C-Light-2011」

アルミ箔、テンペラ、油彩／白亜地キャンバス

60.6×50cm 2011年



安喜万佐子 「松林図」(部分)

膠、顔料、胡粉、金箔／木製パネルに麻布、ポローニャ石膏

90×300cm 2011-12年